

講義概要

| 授業科目名 | 単位数(時間数) | 開講時期 | 講師名 | 時間 |
|---------|----------|-------|--------------------------|------------|
| 母性看護学概論 | 1単位(30) | 1年次9月 | *講師、専任教員 (実務経験のある教員等) | 30 (30) |

科目目標

- 1 母性看護の基盤となる概念と母性保健の動向・法律について理解できる。
- 2 ライフサイクル各期の特徴と健康問題に応じた看護について理解できる。

| 単 元 | 目 標 | 内 容 | 備 考 |
|-------------------------|------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 母性看護の 概念 | 1 母性看護の主な概念について理解できる | 1 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ<*7回14h> 2 性(セクシュアリティ)とジェンダー 3 性の多様性(性同一性障害、性分化疾患、LGBT) 4 母性・父性・親性とは 5 母性看護のありかた 6 家族の発達・機能 7 母性看護の基盤となる概念(Women-centered care、Family-centered care、ウエルネス、エンパワメント、ヘルスプロモーション、セルフケア) | |
| | 2 母性看護における倫理について理解できる | 1 プライバシーの保護 2 自己決定の尊重 3 母性看護における倫理的課題 (人工妊娠中絶、生殖補助医療、出生前診断) | |
| | 3 母性看護の世界・日本の動向について理解できる | 1 出生に関する統計 2 新生児・乳児・周産期死亡に関する統計 3 死産、流産、人工妊娠中絶に関する統計 | |
| | 4 リプロダクティブ・ヘルスに関する法と施作と支援について理解できる | 1 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法) 2 性暴力被害者支援 3 虐待防止に関する法律 4 母体保護法 5 女性の就労に関する法律 6 周産期医療システム 7 妊娠・出産包括支援 8 在留外国人の母子支援 9 災害時の母子支援 | |
| ライフサイ クル各期に おける看護 | 5 思春期にある人の特徴と看護について理解できる | 1 身体的特徴と第二次性徴 <7回14h> 2 心理・社会的特徴 3 性意識・性行動の発達と性教育 4 思春期の健康問題と健康教育 (月経異常、月経随伴症状、性感染症:STD) | |
| | 6 成熟期にある人の特徴と看護について理解できる | 1 身体的特徴 2 女性と結婚・労働 3 家族計画、受胎調節と出産 4 不妊と看護 5 成熟期の健康問題と看護(子宮筋腫、子宮内膜症) | |
| | 7 更年期にある人の特徴と看護について理解できる | 1 更年期の心身の特徴 2 プレ更年期の保健指導 3 更年期障害・LOH症候群(男性更年期)と看護 4 更年期以降の健康問題と看護(骨粗鬆症、閉経、骨盤臓器脱、尿失禁、萎縮性膀胱炎、外陰炎) | |
| | 8 女性とヘルスプロモーションについて理解できる | 1 望まない妊娠と人工妊娠中絶 2 STD、HIVと予防行動 3 嗜好品(たばこ・酒・危険ドラッグ) 4 女性の健康と食行動(肥満・やせ) 5 女性への暴力・つきまとい | |
| | | | 【評価】 筆記試験 (1h) 自己学習 (1h) |

講義概要

| 授業科目名 | 単位数(時間数) | 開講時期 | 講師名 | 時間 |
|----------|----------|----------|---------------------------|--------------|
| 妊婦・産婦の看護 | 1 単位(30) | 2 年次 4 月 | * 講師、専任教員 (実務経験のある教員等) | 3 0 (3 0) |

科目目標

- 1 妊娠の経過と看護について理解できる。
- 2 分娩の経過と看護について理解できる。

| 単 元 | 目 標 | 内 容 | 備 考 |
|-------|---------------------------|--|--------------------------------------|
| 妊婦の看護 | 1 妊娠の経過と胎児の発育について理解できる | 1 周産期看護の特徴 <* 6回 12h> 1) マタニティ診断 2) 基本情報の把握 3) アセスメントと診断名のつけ方 2 妊娠の生理と経過 1) 妊娠期の定義 2) 妊娠の経過と胎児の発育 3) 母体の生理的变化 3 妊婦の健康診査 4 妊婦の診察と介助 | |
| | 2 妊婦の心理について理解できる | 1 妊婦の心理的特徴 1) 妊娠への適応と心理 2) 妊娠各期の心理的特徴 3) 妊娠と家族と社会 | |
| | 3 妊婦の看護について理解できる | 1 妊婦の健康管理と保健相談 2 妊娠前・中・末期の経過に沿った保健相談 3 マイナートラブルと保健相談 4 親としての自己像形成過程の援助 5 新しい家族役割への適応過程の援助 | 【校内実習】 <* 1回 2h> マタニティエクササイズ |
| | 4 周産期の母子に関する法律 | 1 周産期の母子に関わる法律 1) 母子保健法 2) 児童福祉法 3) 戸籍法 4) 死産の届出に関する規定 5) 健康保険法、生活保護法 2 勤労している母性保護の法律 1) 労働基準法 2) 男女雇用機会均等法 3) 育児・介護休業法 | |
| | | 【校内実習】 < 2回 4h > 1 妊婦体験 2 妊婦の健康診査 3 分娩時の呼吸方法と補助動作 4 産痛緩和の援助 (アロマセラピー含む) | |
| 産婦の看護 | 5 分娩の経過と胎児の健康状態について理解できる | 1 分娩の生理と経過 <* 5回 10h> 1) 分娩の定義 2) 分娩発来の際序 3) 分娩の三要素 2 産婦の健康診査 1) 分娩の進行状態 2) 胎児の健康度 3 産婦と家族の心理的特徴 | 【評価】 筆記試験 (1h) 自己学習 (1h) |
| | 6 分娩の進行状態に合わせた看護について理解できる | 1 分娩の経過と看護 1) 入院時の看護 2) 分娩第1期～第4期の経過と看護 | |

講義概要

| 授業科目名 | 単位数(時間数) | 開講時期 | 講師名 | 時間 |
|-----------|----------|----------|--------------------------|--------------|
| 褥婦・新生児の看護 | 1 単位(30) | 2 年次 6 月 | *講師、専任教員 (実務経験のある教員等) | 3 0 (3 0) |

科目目標

- 1 産褥の経過と看護について理解できる。
- 2 新生児期の経過と看護について理解できる。

| 単 元 | 目 標 | 内 容 | 備 考 |
|--------|------------------------|---|---|
| 褥婦の看護 | 1 産褥の経過と褥婦の心理について理解できる | 1 産褥の生理と経過 <* 3回6 h > 1) 退行性変化 2) 進行性変化 2 褥婦の心理的特徴 1) 母親への適応過程 2) 出産体験とその振り返り (パースレビュー) 3) マタニティブルーズ | |
| | 2 褥婦の看護について理解できる | 1 褥婦の健康診査 2 産褥経過と看護 1) 退行性変化・進行性変化と援助 2) 褥婦の日常生活とセルフケア 3) 退院指導 (家族計画を含む) 3 児との関係確立への看護 1) 児との対面 2) 母子相互作用を促す援助 3) 育児支援 4 新しい家族形成への援助 1) 家族の心理と関係促進のための援助 (1) 夫 (父親) (2) 上の子(きょうだい) (3) 父母 2) ソーシャルサポート 5 褥婦の看護過程 < 4回8 h > 1) 診断過程 (マタニティ診断) 2) 実践過程 (保健指導) 3) 評価 | 【校内実習】 < 2回4 h > 1 乳房の観察と乳汁分泌促進 2 復古現象の観察と促進方法 3 直接授乳の援助 |
| 新生児の看護 | 3 新生児の経過を理解できる | 1 新生児の生理と経過 <* 3回6 h > 1) 新生児の定義 2) 胎外生活への適応過程 3) 新生児の健康診査 | |
| | 4 早期新生児の看護を理解できる | 1 出生直後の新生児の看護 1) 観察と計測 2) 早期母子接触 2 早期新生児の日常生活の援助 1) 健康状態の観察とアセスメント 2) 清潔 3) 栄養 3 保育環境 1) 新生児室 2) 母児同室 4 退院後の生活指導 1) 沐浴指導 2) 育児技術指導 5 新生児マススクリーニング 6 新生児の安全 1) 低体温の予防 2) 窒息の防止 3) 熱傷防止 4) 転落防止 5) 感染予防 6) 取り違い防止 7) 連れ去り防止 | 【校内実習】 < 2回4 h > 1 沐浴 2 新生児の観察・計測 |
| | | | 【評価】 筆記試験 (1 h) 自己学習 (1 h) |

講義概要

| 授業科目名 | 単位数(時間数) | 開講時期 | 講師名 | 時間 |
|-------------------|-----------|----------|--------------------------|--------------|
| 周産期にある人のハイリスク時の看護 | 1 単位 (15) | 2 年次 9 月 | *講師、専任教員 (実務経験のある教員等) | 1 5 (1 5) |

科目目標

妊婦・産婦・褥婦・新生児のハイリスク時の看護について理解できる。

| 単 元 | 目 標 | 内 容 | 備 考 |
|--|--------------------------------------|--|-----------------------|
| 妊 娠 ・ 分 娩 ・ 産 褥 ・ 新 生 児 の 異 常 | 1 ハイリスク状態にある妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護について理解できる | <p>1 ハイリスク状態にある妊婦・産婦の看護</p> <p>1) ハイリスク妊娠・分娩とは <* 2回4 h ></p> <p>2) 病態生理</p> <p>(1) 糖代謝異常妊娠と妊娠糖尿病 (2) 妊娠悪阻</p> <p>(3) 妊娠期の感染症 (4) 妊娠高血圧症候群</p> <p>(5) 妊娠持続期間の異常 ① 流・早産 ② 過期妊娠</p> <p>(6) 子宮外妊娠 (7) 多胎妊娠 (8) 骨盤位</p> <p>(9) 前置胎盤 (10) 常位胎盤早期剥離</p> <p>(11) 陣痛異常 ① 微弱陣痛 ② 過強陣痛</p> <p>(12) 産科出血 (13) 胎児機能不全</p> <p>3) 治療</p> <p>(1) 安静療法 (2) 薬物療法 (3) 食事療法・運動療法</p> <p>(4) 手術療法 ① 子宮内容清掃術</p> <p>② 急速遂娩 (吸引分娩、帝王切開術)</p> <p>4) 看護 <* 1回2 h ></p> <p>(1) 安静療法時の看護 (2) 薬物療法時の看護</p> <p>(3) 食事療法・運動療法時の看護</p> <p>(4) 手術療法時の看護</p> <p>2 ハイリスク状態にある褥婦の看護</p> <p>1) 異常産褥と治療 <* 1回2 h ></p> <p>(1) 肺塞栓 (2) 子宮復古不全</p> <p>(3) 産褥熱 (4) 乳腺炎 (5) 精神障害</p> <p>(6) 尿道感染、排尿障害</p> <p>2) 看護 <* 1回2 h ></p> <p>(1) 子宮復古不全のある褥婦の看護</p> <p>(2) 産褥期感染症に罹患した褥婦の看護</p> <p>(3) 母子分離時の母親への看護</p> <p>(4) 障害をもつ新生児の出産や児を亡くした母親への看護</p> <p>3 ハイリスク状態にある 新生児の治療と看護 <*2回4 h ></p> <p>1) 新生児仮死</p> <p>2) 先天異常</p> <p>3) 早産児、低出生体重児</p> <p>4) 呼吸障害 (1) TTN (2) RDS (3) MAS</p> <p>5) 高ビリルビン血症</p> <p>6) 分娩外傷</p> <p>7) 低血糖症</p> <p>8) ビタミンK欠乏症</p> | 【評価】 筆記試験 (1 h) |